



てっせい

町内会だより

鉄西連合町内会
 広報部発行
 北10西4鉄西会館
 ☎011-726-5285
 印刷：楡印刷株

北大構内をゆっくり「にこにこウォーキング」 締めは総合博物館で ソフトクリームで談笑

家にもらず、新緑の季節を味わう恒例の「春の鉄西にこにこウォーキング」が6月9日、鉄西会館をスタートして北大構内で行われました。鉄西会館で行われている健康づくりの「すこやか倶楽部」の特別版です。

鉄西地区社会福祉協議会や北区、介護予防センター、包括支援センターが春・秋の2回開催し、今回から「すこやか」を笑顔いっぱいの「にこにこ」に名称変更しました。付き添いの支援機関職員を含め参加者は33名。

この日はいつにない晴天。構内中央を流れる小川沿いに進み、途中、川で羽を休めるオンドリの夫婦に見入り、また、チューリップの花弁に似た黄色い花を付けるチューリップツリー＝写真中央＝を見上げ、農場手前の北18条交差点手前で記念撮影しました。帰路は南に向かい、大野池を巡り、今回の目的地の北大総合博物館で流れ解散に。

旧理学部を改装した館内はエレベーター付き3階建て。化石や学術資料などさまざまな展示物を一巡しても1日がかかります。三々五々、小一時間で勉強した後、館内販売のソフトクリームを頬張りながら「安全に歩けるキャンパスは最高!」「空気がきれい」「また来たいね」と楽しそうでした。



北九条小学校と児童館の子どもの活動に役立ててもらおうと、今年も赤十字奉仕団鉄西分団の皆さんと写真下の雑巾づくりに精を出しています。作業はエルプラザで月1回、第2水曜日に。今年目標は北九条小学校へ500枚、同児童館へ100枚の計600枚。来年2月に寄贈します。



97歳の柏崎さんも活躍
 根気のいる作業を長年わたって続けられているのが大正14年生まれで分団最高齢の97歳になられた柏崎フミ



団員も「柏崎さんにお会いできるのを楽しみに活動しています。」

北九条小学校に雑巾を

「自転車はスピードダウンを」 母の会が街頭で呼びかけ

子どもや高齢者を自転車の危険走行から守ろう、と鉄西地区の交通安全母の会（紺野由美子会長）の指導員らが街頭に立っています。

札幌市内で自転車に関係する交通事故は年々増えて、2021年は66件増の820件。全ての交通事故に占める割合も2割を超える深刻な状況です。子供の自転車事故は7～8月にピークになります。

このため春夏秋冬の全国交通安全運動の啓発活動とは別に、6月と9月に自転車走行が多い北大正門前交差点で信号待ちの自転車運転者にチラシやグッズを手渡しして呼びかけます。

また、同じ日の朝8時からエルプラザ前のスクランブル交差点に幟を持って6～8人が立ち＝写真＝、注意を促しています。「減速しない斜め横断は危険です」と紺野会長は話します。



9月に向け演舞練習 青年部

さつき公園 (北11西2) で「もっとにっこり!! 鉄西秋祭り」が9月18日 (日) 開催されます。祭りを盛り上げるのは、主催する鉄西連合町内会の青年部に所属し、鉄西地区を中心に道内で活動している学生サークル「テスク&祭人 (まつりんちゅ)」です。北大生を中心に現在80名。



6月中旬のYOSAKOIソーラン祭りを皮切りに8月まで大学の学祭や道内各地のお祭りのお手伝いと忙しい毎日。それでも本拠地の鉄西地区の秋祭りに向け練習に余念がありません。「北九条小や地域のみなさんに楽しんでいただけるような企画を考えています」。コロナ禍の沈静化を学生たちは祈っています。

と10階建てオフィスビルから成る団地には、40階建てマンション

者による止水訓練が行われていきます。

幌駅北口に面した8・3スクエア団地で居住

要設備を守ろうと、札

らマンションの地下重

水氾濫や豊平川洪水か

マンションの地下重

守れ!

集中豪雨だ

マンションを

マンションを

北九条小学校

夏祭り

3年ぶい 子ども祭り

鉄西夏祭り子ども大会が7月22日 (金) 午前、北九条小学校グラウンドを会場に開かれました。

コロナ感染症対策として6年生から学年ごとに時間を区切ってゲームに参加しました。

用意したゲームは7種類で、受付でスタンプカードを受け取り、ゲームごとにスタンプを押しもらい参加の景品をもらう仕組み。

射的やワニワニパニックなど児童が独自に企画作成したもののほか、輪投げ、スマートボール、ストラックアウト、カーボーリング、スーパーボールすくい…。子どもたちは笑顔で取り組みました。

5年生がゲームを企画

子ども大会は、例年7月の「鉄西夏まつり」の午前の部で開催されているものですが、コロナ禍により2年連続中止に。このため、今回は鉄西連合町内会と夏祭り実行委員会が先生や5年生児童と打ち合わせを重ねて実現しました。



用意したゲームは7種類で、受付でスタンプカードを受け取り、ゲームごとにスタンプを押しもらい参加の景品をもらう仕組み。

5年生がゲームを企画

子ども大会は、例年7月の「鉄西夏まつり」の午前の部で開催されているものですが、コロナ禍により2年連続中止に。このため、今回は鉄西連合町内会と夏祭り実行委員会が先生や5年生児童と打ち合わせを重ねて実現しました。



洪水と大地震に備え

地下に発電機室や電気室、受水槽、中央管理室の通信・消防設備、立体駐車場地下動力室などがありますが、浸水口がエスカレーター地下連絡通路を含め25カ所以上もあります。

東京郊外のタワーマンションで内水氾濫によりエレベーターが長期間停止したことがありました。

避難所運営ゲーム

(HUG) を取り入れた研修が7月28日、北九条小学校 (紺野高裕校長) で行われました。

大地震など災害が発生したときに避難所となる校舎で、受け入れ側の行政や鉄西連合町内会、日赤支部などが

屋内駐車場入口から下水や洪水が押し寄せないよう、管理会社スタッフが手作りの止水板は、今年5月の防災訓練でビル従業員にも披露されました。



方法などについて説明。受水槽や備蓄物資などの学校施設の確認も行いました。

HUGの研修は写真右側では、体育館や教室を配置した図面を数人で囲み、避難者に見立てたカードを適切な場所に誘導します。「熱のある方はどの教室に案内するか」など、避難者の事情に配慮した運営に心を砕きました。



スムーズに避難所を開設できるか初動対応の確認が目的です。

同校の学校職員や北区役所職員、隣接する町内会役員など約20人が参加。研修講師から避難所の開設や運営、防災行政無線の取扱い